

1. (1)  $4:3$     (2)  $\frac{8}{5}\text{cm}^2$     (3)  $\frac{48}{5}\text{cm}^2$

(4)  $15:6:14$

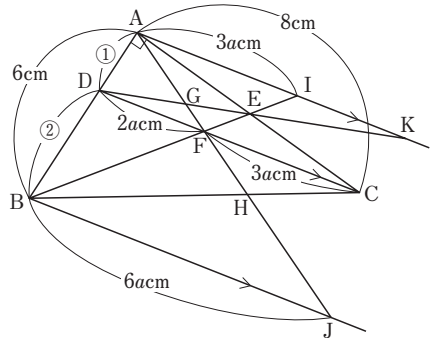
**解説**

(1) 図のように、点A, Bからそれぞれ線分DCに平行な直線を引き、この平行線と、線分BE, AHの延長との交点をそれぞれI, Jとする。 $\triangle ADF \sim \triangle ABJ$ より、 $DF:BJ=AD:AB=1:3$   $\triangle BDF \sim \triangle BAI$ より、 $DF:AI=BD:BA=2:3$  よって、 $DF=2a(\text{cm})$ とおくと、 $BJ=3 \times 2a=6a$ ,  $AI=\frac{3}{2} \times 2a=3a$  さらに、 $\triangle AIE \equiv \triangle CFE$ より、 $CF=AI=3a$ と表せる。したがって、 $\triangle ADF = \frac{2a}{3a} \times \triangle AFC = \frac{2}{3} \triangle AFC$ ,  $\triangle AEF = \frac{1}{2} \triangle AFC$ より、 $\triangle ADF : \triangle AEF = \frac{2}{3} \triangle AFC : \frac{1}{2} \triangle AFC = 4:3$

(2)  $\triangle DEF = \frac{2a}{2a+3a} \times \triangle DEC = \frac{2}{5} \triangle DEC$ で、 $AD = \frac{1}{3} \times 6 = 2$ ,  $EC = \frac{1}{2} \times 8 = 4$ より、 $\triangle DEC = \frac{1}{2} \times 4 \times 2 = 4$ よって、 $\triangle DEF = \frac{2}{5} \times 4 = \frac{8}{5}(\text{cm}^2)$

(3)  $\triangle BCF = \frac{3}{5} \triangle BCD$ で、 $BD = 6 - 2 = 4$ ,  $AC = 8$ より、 $\triangle BCD = \frac{1}{2} \times 4 \times 8 = 16$  よって、 $\triangle BCF = \frac{3}{5} \times 16 = \frac{48}{5}(\text{cm}^2)$

(4) 図のように、直線AIと直線DEとの交点をKとすると、 $\triangle AIE \equiv \triangle CFE$ より $IE=FE$ だから、 $\triangle DEF \equiv \triangle KEI$ となり、 $KI=DF=2a$  また、 $\triangle AGK \sim \triangle FGD$ だから、 $AG:FG=AK:FD=(3a+2a):2a=5:2$ より、 $AG = \frac{5}{7}AF$ ,  $GF = \frac{2}{7}AF$  一方、 $DF \parallel BJ$ より、 $AF:FJ=AD:DB=1:2$ だから、 $FJ=2AF$  さらに、 $\triangle FHC \sim \triangle JHB$ だから、 $FH:JH=FC:JB=3a:6a=1:2$ より、 $FH = \frac{1}{3}FJ$  よって、 $FH = \frac{1}{3} \times 2AF = \frac{2}{3}AF$  以上より、 $AG:GF:FH = \frac{5}{7}AF : \frac{2}{7}AF : \frac{2}{3}AF = 15:6:14$



2.  $\frac{25}{18}\pi$

**解説**

図のように、4点A, B, C, Dを定め、点Oを通り弦ABと垂直に交わる直線と、弦AB, 弦CDとの交点をそれぞれP, Q, 弦ABと半径OCの交点をRとする。 $\triangle OAP$ と $\triangle COQ$ において、 $\angle APO = \angle OQC = 90^\circ$  また、 $\angle COQ = 80^\circ \div 2 = 40^\circ$ より、 $\angle AOP = 40^\circ + 10^\circ = 50^\circ$ 、 $\angle OCQ = 180^\circ - 90^\circ - 40^\circ = 50^\circ$ だから、 $\angle AOP = \angle OCQ$  さらに、 $OA = CO$  よって、直角三角形の斜辺と1鋭角がそれぞれ等しいので、 $\triangle OAP \cong \triangle COQ$

これら2つの三角形からそれぞれ $\triangle OPR$ を除いた部分の面積も等しいので、 $\triangle OAR = [\text{四角形PQCR}]$  これらにそれぞれ図形ACRを加えても面積は等しいので、 $[\text{おうぎ形OAC}] = [\text{図形ACQP}]$  同様にして、 $[\text{おうぎ形OBD}] = [\text{図形BDQP}]$  以上より、求める斜線部分の面積は、おうぎ形OACとおうぎ形OBDの面積の和となる。

この2つのおうぎ形は、半径が5、中心角が $10^\circ$ だから、求める面積は、 $\pi \times 5^2 \times \frac{10^\circ}{360^\circ} \times 2 = \frac{25}{18}\pi$

